

名城大学との新・分譲戸建住宅開発スタート

(株)TSON(社長:百生 彰、名古屋市中村区)と東新住建(株)(社長:辻 明典、愛知県稲沢市)は名城大学理工学部建築学科 生田研究室(生田 京子准教授、名古屋市天白区)と新しい分譲戸建住宅の企画でコラボレーションをすることになりました。4月22日(水)、名城大学にてキックオフが行われましたのでお知らせいたします。



名城大学 生田研究室でのキックオフ風景/2015.4.22

●市場の変化

働く女性の増加、夫婦と子供世帯の価値観の多様化により、住まいに求められる内容も従来から大きく変化しています。特に夕食後に家族がリビングで過ごす割合が約8割を超え(※1:次頁参照)、夕食後にすぐには個室へ入らなくなっていること。すっきりと部屋が片付かないという不満が4割強(※2:次頁参照)となっていること等に明確にあらわれてきています。

●名城大学生田研究室×(株)TSON×東新住建(株)のコラボレーション

このような変化を住まいに取り入れつつ、かつ先取りするため、(株)TSONと東新住建(株)は名城大学理工学部建築学科の生田京子准教授(生田研究室)と一緒に新しい分譲戸建住宅の開発に取り組むことになりました。そしてこの度、キックオフが名城大学で行われました。(写真参照)

●開発方法&テーマ

開発方法は学生の柔軟な発想を最大限発揮できるように留意した受託研究のスタイルで行います。この方法は、(株)TSONと東新住建(株)が分譲戸建住宅のターゲット、立地、家や土地の広さといったテーマをできるだけ具体的かつ詳細に設定⇒テーマに基づいて生田研究室が具体的な住宅を提案⇒三者で未来志向の評価を繰り返しつつ最終的にプロトタイプの完成にこぎつけます。

開発テーマは「子育て応援の暮らし」、「10年後の住まい」の二つです。

①「子育て応援の暮らし」は30歳代の夫婦と子供世帯がターゲットですが、細かな状況設定をしています。例えば、主婦は子育て中心の生活だが将来は復職を考えているといった具合です。そのような細かな状況設定のターゲットに受け入れられる住まいの開発を目指します。

②「10年後の住まい」は学生自身が近い将来、自分の家族と住むために必要になるだろう住まいを具体化することを目指します。

サブテーマとして①②のテーマにかかわるインテリア・家具の開発にも取り組みます。

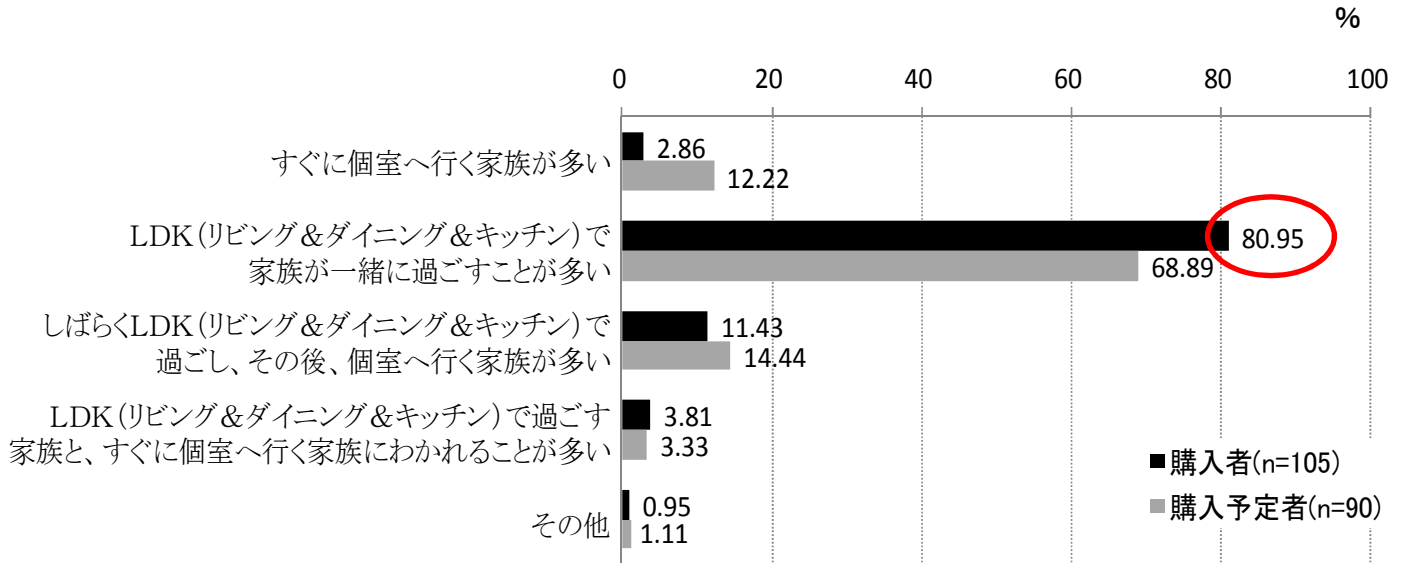
●期間及び成果

今年4月から10月までの7か月間を想定しています。開発後には(株)TSONと東新住建(株)では開発の成果を実際に住宅に取り入れ、販売することも目指しています。

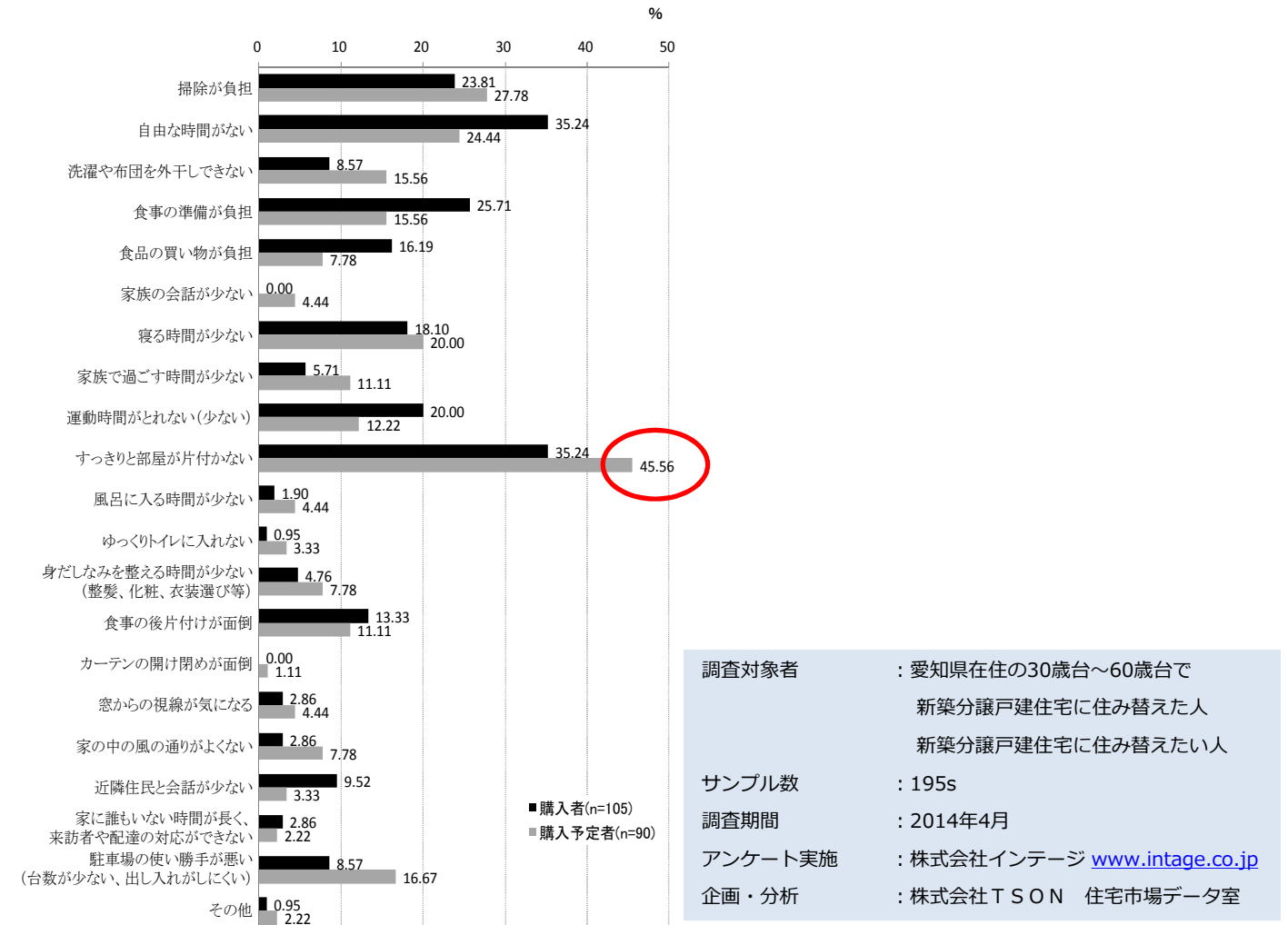
以上

※1※2 TSON調査

Q. 夕食後はどこで過ごすことが多いですか。また購入予定者の方は夕食後にどこで過ごしたいですか（回答はひとつ）



Q. 現在、あなたが日常生活で不満に感じていることはなんですか。（回答は3つまで）



<このリリースのお問合せ先>
株式会社TSON 住宅市場データ室 小間幸一
 電話番号:0587-23-7641(直通)